

社会とつながり、社会と変わる

土壤科学

サイエンスコミュニケーション

2024年9月5日(木) 13:00-16:20 参加費無料
福岡市国際会議場 DE会場(411-412室)

プログラム:

- 13:00 挨拶・趣旨説明
赤羽 幾子(農研機構)
- 13:05 アウトリーチから共創へ
小学生と一緒につくりあげたダーウィンコースの教訓
矢原徹一(福岡市科学館・一般社団法人九州オープンユニバーシティ研究部)
- 13:40 土壤科学をどう伝えるか
土壤モニタリングを活用したサイエンスコミュニケーション
平山良治(埼玉県立川の博物館・元国立科学博物館)、
森 圭子(埼玉県立川の博物館)
- 14:15 子ども社会参画プログラムにおけるサイエンスコミュニケーターの役割と
参加者の変化 長期間の活動を通じた課題解決型人材の育成
林 千恵(福岡市科学館)
- 14:40 博物館および小学校とのコラボレーションで実現する持続可能な
フィールド体験型土壤教育プログラム
平井英明(宇都宮大学)、他9名
- 15:05 ジオパークで伝える、つながる土壤科学
渡邊瑛勇、浅野真希(筑波大学)
- 15:25-15:40 休憩
- 15:40 総合討論



会場(福岡国際会議場)までの
アクセス

日本土壤肥料学会の長きにわたる、**土壤科学**のアウトリーチ活動は新たな局面を迎えようとしています。国内で1990年代から唱えられ始めた**サイエンスコミュニケーション**は、その目的を科学技術や自然科学への理解醸成から、持続可能な社会の実現に貢献する人材育成や様々なステークホルダーと協働する手段へと変化しており、今後も社会の多様な場面で、重要な役割を果たすものとしています。本シンポジウムでは、**サイエンスコミュニケーション**に深い造詣をもつ研究者やサイエンスコミュニケーターから実践例を紹介していただきます。総合討論では、社会と**土壤科学**のつながりについて自由な意見交換を行い、**土壤科学**に携わる者が担う新たな社会貢献活動について議論を深めます。

事前参加登録はこちらから



当日受付も可能ですが、なるべく事前登録(8/29正午頃)をお願いします。